



4 月 号

平成 29 年 4 月 25 日

# 桜花爛漫

郷土を舞台に 夢に向かい ともに歩む学校

心豊かで  
たくましい荘川っ子

- ・考える子
- ・思いやりのある子
- ・元気な子

## 十人十色

校 長 水 口 悟

### 霜止んで苗出（しもやんで なえいず 穀雨・次候）

霜のおおいがとれ、健やかに苗が育つころ。種籾が芽吹き、すくすくと、あおあおと伸びていきます。  
（新暦では、およそ四月二十五日～二十九日ごろ 日本の七十二候を楽しむより）

### ◇ひとり歩きのできる子は、節目を大切にできる子

昨年度末に、5名の先生方とお別れをしました。別れを惜しむ子どもたちの姿が印象的でした。そして、新年度に入り、5名の先生方との新しい出会いがありました。わくわくしている子どもたちの姿が印象的です。人は歩む時々に、幾度か出会いと別れという節目に遭遇します。そして、その節目の意義考え、大切にし、成長していきます。3月31日と4月1日は、一日しか変わらないのに、その瞬間に新たな一步を踏み出そうとする人の生き方は、素晴らしいものです。私たち職員も、素晴らしい出会いの毎日を過ごしています。

卒園式で、年長さんたち一人一人が、園長さんからいただいた保育証書を保護者の方に手渡す瞬間の親子の対話が、感動的でした。言葉無くとも目と目で通じ合えるつながりが、眩しく映りました。また、中学校の入学式において、先輩のみなさんが9年間培われる合唱を披露し、優しく包み込むように新入生を迎え入れた姿は、感動的でした。12年間の子どもの成長を切れ目なく、しかも成長の節目を大切にしている荘川地域の保小中一貫教育は、かけがえのない教育文化です。それは、間違いなく私たち学校職員のみならず、保護者や地域の皆さんの長い年月において、培われている“結の心”があってこそ思いを強めています。

### ◇ひとり歩きのできる子は、自分のよさを強みに変えられる子

「〇に何という漢字が入るか、分かる人！」始業式のときに質問をしました。流石、中高学年、勢いよく手を挙げてくれました。頼もしいと思いました。声を合わせて「じゅう〜！」と答えてくれました。十人十色。十把一絡げ（じっぱーひとからげ）ではありません。一人一人の色（個性）は、違っていい。違わなくてはいけない。もし、皆さんが同じ色であったなら、絵が描けない。全員が青色だったら、青一色の絵しか描けない……。キャンパスの上に、あなた色は、ここで輝く、あなたの色とあなたの色が合わさったら（協力したら）、今まで無かったこんなすてきな色として輝く（活躍できる）ことができる……。しかし、個性と自分勝手は違います。個性とは集団の中に生きてこそ個性です。小規模校のよさは、一人一人のよさを見届け、磨き、強みに変えることができることです。子どもたちの個性が個性として、将来に渡り輝くように、一人一人にしっかり向き合う一年にしたいと思います。

そして、平成29年度という大きなキャンパスに、全児童と全職員の個性あるわたし色で、保護者・地域の皆様とともに保小中一貫教育に向けた壮大な夢を描きたいと考えています。保護者の皆さん、地域の皆さん、本年度もどうぞ宜しくお願いいたします。学校には、いつでも遠慮無く来てください。お待ちしております。

〇  
人  
〇  
色